

式辞

本日ここに、保護者の皆様のご出席のもと、令和三年度、国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校第 50 回「商船学科卒業証書授与式」ならびに第 14 回専攻科「海事システム学専攻修了証書授与式」を迎え、本校創立 140 周年の節目に皆さんを送り出すことは、教職員また在校生、同窓一同にとって、この上ない喜びです。新しい歴史を重ねることになります。

商船学科を卒業された航海コース十八名、機関コース十五名のみなさんは、五年六月の高等教育の課程を修了し、**準学士の称号**を授与されました。本科では、基礎学理と教養に加えて専門領域たる海事と船舶運航の仕事の技術を身につけたことと思います。また、専攻科海事システム学専攻を修了された二名におかれては、**大学評価・学位授与機構の定めた条件を満たし学士（商船学）の学位**を授与されました。本科教育の上に高度かつ、より広い領域の専門的学術を修められ、国際的視野を持つ、創造的研究・技術開発の実力をもつ技術者として成長されたと思います。本科卒業生・専攻科修了生の皆さんの今日に至るまでの不断の研鑽を称えますとともに、皆さんを物心両面から支えて来られた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。船舶職員、海事技術者、エンジニアとして、進路の行先は、海運・海事さらには海洋資源の調査、探査まで広がりを見せつつあります。日本は排他的経済水域の面積では 6 位ですが、体積では世界 4 位です。これは日本が大深度水域を広く保有していることを示します。今後のご活躍を祈念申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、皆さんは本校での日々の勉学と鳥羽丸での乗船実習、加えて合計 12 ヶ月の乗船実習を立派に成し遂げられました。世界は 1918 年のスペイン風邪の流行以来の状況に見舞われ、皆さんも、新型コロナウイルス感染症のために、先輩諸氏が体験したことのない経験をされました。“船を知っている”から“船を動かす” “Seamen、マリタイムの技術者、エンジニア”としての強靭さを体得され、実力を発揮してください。「強さ、強靭さ、剛健さ」には、「正しさ」と「優しさ」が含まれ、自分を守り、同僚を守り、家族を守り、そして海を守ることを忘れないでください。

社会や国家が文明社会をなしているかどうかの基準は、高層ビルが多いとか、科学技術が発達しているとか、はたまた軍隊が強いとかではなく基準はただひとつ、「弱者に対する態度、やさしさである」と言われていることを申し添えます。

これからの人生、良いこともあれば大変なこともあります、人間万事塞翁が馬、一喜一憂せず、どっしりと構える、一見よくないようにみえることも、チャンスなのかもしれません。そして嬉しいとき、悩んだとき、みなさんはひとりではない。今日ここに集まっている卒業生、友人、保護者、教職員の方々、ここまで皆さんを引っ張ってくれた先輩、あとに続く後輩たちとともに約 8000 名の同窓生のつながり、絆をしっかり結んでください。

百四十年間、本校が掲げた教育理念は「進取、礼譲、質実剛健」であります。人生 100 年ともいわれる時代、最初の 14、5 年というのは短い、その中学 3 年生で下した決断と今日までの不断の努力にあらためて敬意を表します。さあ、自信と信念を持って前進してください Have faith in yourself. 式辞といたします。

令和三年九月二十三日 独立行政法人国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校長 和泉 充